

進路だより

山形大学附属特別支援学校
進路指導部
第5号
令和5年12月4日

事業所見学について

日頃から事業所見学にご協力いただき、ありがとうございます。事業所見学は基本的に本人と保護者のみで行っていただくため、「見学で、どんなところを確認すればよいか悩んだ。」などという声も聞かれました。そこで、事業所見学の目的や見学の観点をお伝えいたします。こちらを参考にいただき、今後も引き続き事業所見学へのご協力よろしくお願いたします。



事業所見学の主な目的

- 小・中学部：関心のある事業所を見学し、将来の進路先や、高等部に進学してからの実習先について、サービスの形態の違い（生活介護事業や就労継続支援○型事業など）も含めて広く知る。
- 高等部：将来の進路先として関心のある事業所を見学し、長く就労（利用）ができそうか、実習先として適切かどうかを検討する。

具体的な見学の観点

観点	内容
利用者の様子	・本人が馴染めそうか。一緒に仕事や活動ができそうか。
職員の様子	・支援体制は本人に合っているか。 ※一般的にどの事業所の形態でも、在学中と比べて利用者（児童生徒）に対する支援者（教員）の割合は少ないと考えられます。
1日のスケジュール	・卒業後に利用する場合、始業時刻や終業時刻は問題ないか。（家から出る時刻、家に帰ってくる時刻を踏まえて） ・作業（活動）時間は本人に適切か。
仕事や活動の内容	・仕事（活動）は本人に合っているか。長く続けられそうか。
環境	・本人が安全に過ごせる環境になっているか。（建物内・外どちらも）
立地と送迎の有無	・卒業後、本人が自力で、もしくは事業所の送迎等を利用して通勤可能か。 ※送迎「有り」だとしても、その時の状況で空きが出るまで送迎不可だったり、家の前での送迎が難しかったりすることがあります。
空き状況	・定員に対する利用者の数はどうか。 ※年度初めだけでなく、年度途中でも空き状況は変動する可能性があります。

※見学前に山形市の「障がい福祉サービス等事業所ガイド」などで事業所の概要を確認することもおすすめです。